

自民、費用は党負担というが…

自民党の茂木敏充幹事長は1日の記者会見で、松川るい女性局長が「研修」先のフランスで撮影し、SNSに投稿した写真に批判の言が上がっていることに関し、小淵優子組織運動本部長から松川氏に「不適切な情報発信で誤解されるのではないように」と注意したと明らかにしました。

「研修」には女性局の国会議員や地方議員らが参加。松川氏はエッフェル塔前でポーズを撮った写真をSNSに投稿し、批判を受け削除しました。

茂木氏は会見で「真摯（しんし）に受け止めなければいけない」と強調。「研修」費用は党と議員で負担していると

エッフェル塔前でポーズ写真投稿に批判

し、党負担分に政党助成金は含まれていないと説明しました。

「研修」の実態は明らかではありませんが、バカンスの時期に入っているフランスを同党女性局の国会議員など38人が大挙して訪れ、仏側の国会議員や行政当局と少子化問題などについて意見交換したというもの。しかし、投稿の内容を見れば観光が目的の一つだったことは否定できず、物価高騰にあえぐ国民が反感を抱くのは当然です。政党助成金の支出はないとの説明ですが、税金で助成を受けている政党が費用を負担したのは事実で、同党の姿勢が改めて問われています。